



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成29年10月25日

上場会社名 日立化成株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4217 URL <http://www.hitachi-chem.co.jp>
 代表者（役職名） 執行役社長（氏名）丸山 寿
 問合せ先責任者（役職名） 経営戦略本部 コーポレート（氏名）岡村 昌彦（TEL）03-5533-7149
 コミュニケーションセンタ長
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

項目	売上収益		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社株主に 帰属する 四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	319,864	24.4	19,684	△22.5	21,933	△6.2	17,010	0.8	16,768	△0.0	23,376	—
29年3月期第2四半期	257,220	△6.7	25,412	8.9	23,382	△1.0	16,867	△1.2	16,773	0.6	30	△99.7

項目	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
30年3月期第2四半期	80	53	—	—
29年3月期第2四半期	80	55	—	—

（注）「基本的1株当たり四半期利益」は、「親会社株主に帰属する四半期利益」を基に算定しております。

（参考）経常的な事業収益力として、要約四半期連結損益計算書の「営業利益」から「その他の収益」及び「その他の費用」を除いた金額は、平成29年3月期第2四半期が24,599百万円、平成30年3月期第2四半期が29,035百万円です。

（2）連結財政状態

項目	資産合計		資本合計		親会社株主持分		親会社株主 持分比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	665,970	398,110	390,466	58.6				
29年3月期	600,485	376,055	369,618	61.6				

2. 配当の状況

項目	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
29年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00	—
30年3月期	—	30.00	—	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	30.00	60.00	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

項目	売上収益		営業利益		税引前当期利益		当期利益		親会社株主に帰属する 当期利益		基本的1株 当たり当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	670,000	20.9	51,000	△4.0	54,500	0.2	41,000	0.7	40,500	0.8	194	50

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

（参考）連結損益計算書の「営業利益」から「その他の収益」及び「その他の費用」を除いた金額は62,000百万円です。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名) Hitachi Chemical Advanced Therapeutics Solutions, LLC 、除外 1社 (社名) Japan Brake (Thailand) Co., Ltd.

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期2Q	208,364,913株	29年3月期	208,364,913株
30年3月期2Q	138,971株	29年3月期	136,862株
30年3月期2Q	208,227,075株	29年3月期2Q	208,231,279株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	P. 5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	P. 6
(要約四半期連結損益計算書)	P. 6
(要約四半期連結包括利益計算書)	P. 7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	P. 8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2017年4月1日から同年9月30日までの売上収益は、半導体関連の好調な需要を背景とした半導体回路平坦化用研磨材料や銅張積層板等の増加をはじめ、環境対応自動車向けのリチウムイオン電池用カーボン負極材の増加のほか、新規案件の立ち上げ等に伴う自動車部品の増加、さらにはイタリア共和国のFIAMM Energy Technology S.p.A.を前年度第4四半期に連結子会社化したこと等に伴う蓄電デバイス・システムの増加により、3,198億64百万円(前年同期比24.4%増)と前年同期実績を上回りました。

利益につきましては、物量増や継続的な原価低減等の増益要因があったものの、コンデンサカルテルに関する係争中の案件について合理的な範囲で費用化したことにより、営業利益は196億84百万円(前年同期比22.5%減)、税引前四半期利益は、219億33百万円(前年同期比6.2%減)と、それぞれ前年同期実績を下回りました。親会社株主に帰属する四半期利益は、法人所得税費用の減少により、167億68百万円(前年同期比0.0%減)と、前年同期実績並みとなりました。

セグメント別の事業の状況は以下のとおりです(各セグメントの売上収益は、セグメント間内部売上収益消去後の数値を記載)。

機能材料セグメント

当セグメントの売上収益は前年同期実績の12.7%増に当たる1,494億1百万円となりました。

①電子材料

半導体用エポキシ封止材は、中国市場における売上が増加したこと等により、前年同期実績を上回りました。

半導体用ダイボンディング材料は、一部顧客の需要が減少したこと等により、前年同期実績を下回りました。

半導体回路平坦化用研磨材料は、3次元構造のNAND型フラッシュメモリー等の需要増により、前年同期実績を上回りました。

電気絶縁用ワニスは、海外市場における自動車向け等の売上が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。

②無機材料

リチウムイオン電池用カーボン負極材は、環境対応自動車向けの売上が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。

カーボン製品は、カーボンブラシの売上が減少したものの、ディスプレイ製造装置向け摺動部品の売上が増加し、前年同期実績並みとなりました。

③樹脂材料

機能性樹脂は、食品包装用樹脂が堅調に推移したほか、硬化剤の売上が増加したこと等により、前年同期実績を上回りました。

ディスプレイ用回路接続フィルムは、スマートフォン向けの売上が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。

タッチパネル周辺材料は、スマートフォン向け等の売上が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。

粘着フィルムは、半導体モールド用離型フィルムの売上が増加したものの、液晶ディスプレイ表面保護用フィルムの売上が減少したこと等により、前年同期実績並みとなりました。

④配線板材料

銅張積層板は、スマートフォン向け等のパッケージ用基板の売上が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。

感光性フィルムは、スマートフォン向けの売上が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。

先端部品・システムセグメント

当セグメントの売上収益は前年同期実績の36.7%増に当たる1,704億63百万円となりました。

①自動車部品

樹脂成形品は、当年度第2四半期にドイツ連邦共和国のISOLITE GmbHを連結子会社化したほか、新製品の立ち上げ等により、前年同期実績を上回りました。

摩擦材は、新製品の立ち上げ等により、前年同期実績を上回りました。

粉末冶金製品は、建設機械用部品の売上が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。

②蓄電デバイス・システム

車両用電池、産業用電池・システムは、前年度第4四半期にイタリア共和国のFIAMM Energy Technology S.p.A.を、当年度第2四半期にタイ王国のThai Storage Battery Public Company Limitedを連結子会社化したこと等により、前年同期実績を上回りました。

キャパシタは、産業機器向けの売上が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。

③電子部品

配線板は、ICTインフラ向けの売上が増加したこと等により、前年同期実績を上回りました。

④その他

診断薬・装置は、アレルギー診断薬の売上が減少したこと等により、前年同期実績を下回りました。

(2)財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

イ. 資産

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末から654億85百万円増加し、6,659億70百万円となりました。

流動資産は、企業結合に伴う支出等により現金が減少したものの、企業結合に伴い売上債権等が増加し、前連結会計年度末から53億47百万円増加しました。

非流動資産は、企業結合に伴い主として無形資産が増加し、前連結会計年度末から601億38百万円増加しました。

ロ. 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末から434億30百万円増加し、2,678億60百万円となりました。

流動負債は、企業結合に伴い主として社債及び借入金が増加し、前連結会計年度末から202億21百万円増加しました。

非流動負債は、企業結合に伴う資金需要の増加等により主として社債及び借入金が増加し、前連結会計年度末から232億9百万円増加しました。

ハ. 資本

当第2四半期連結会計期間末の資本合計は、前連結会計年度末から220億55百万円増加し、3,981億10百万円となりました。これは四半期利益を計上したこと等により利益剰余金が増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末から273億25百万円減少し、803億24百万円となりました。

イ. 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、買入債務が減少したこと等から、前年同期実績と比較して127億72百万円少ない、135億79百万円の収入となりました。

ロ. 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、子会社株式の取得による支出が増加したこと等から、前年同期実績と比較して409億29百万円多い、545億45百万円の支出となりました。

ハ. 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入による収入が増加したこと等から、前年同期実績と比較して311億41百万円多い、117億4百万円の収入となりました。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度下半期の見通しにつきましては、機能材料セグメントでは、半導体関連等の堅調な需要を受け、上半期と同水準の売上が見込まれるほか、先端部品・システムセグメントでは、新規連結子会社による売上増に加え、下半期に需要期を迎える産業用電池の伸長が見込まれます。

これにより、売上収益は前回予想値を上回る見通しですが、利益につきましては、物量増等の増益要因はあるものの、上半期に計上したコンデンサカルテルに関する費用化の影響により、前回予想値を下回る見通しです。

当事業年度通期の業績予想は下記のとおりです。

[通期]

	今回予想(A)	前回予想(B)	増減額(A-B)	増減率
売上収益	6,700億円	6,100億円	600億円	9.8%
営業利益	510億円	580億円	△70億円	△12.1%
税引前当期利益	545億円	600億円	△55億円	△9.2%
当期利益	410億円	440億円	△30億円	△6.8%
親会社株主に帰属する当期利益	405億円	425億円	△20億円	△4.7%
営業利益からその他の収益及び費用を除いた金額	620億円	610億円	10億円	1.6%

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位:百万円)

項目	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び現金同等物	107,649	80,324
売上債権	133,520	151,889
棚卸資産	65,182	81,082
その他の金融資産	21,460	19,100
その他の流動資産	4,251	5,014
流動資産合計	332,062	337,409
非流動資産		
有形固定資産	186,633	203,468
無形資産	27,486	65,735
退職給付に係る資産	10,001	10,307
繰延税金資産	11,827	14,539
持分法で会計処理されている投資	8,484	8,625
その他の金融資産	17,819	18,313
その他の非流動資産	6,173	7,574
非流動資産合計	268,423	328,561
資産合計	600,485	665,970
負債の部		
流動負債		
買入債務	80,924	85,230
社債及び借入金	27,351	39,898
未払費用	27,251	29,843
未払法人所得税	8,680	4,638
その他の金融負債	22,907	26,844
その他の流動負債	3,787	4,668
流動負債合計	170,900	191,121
非流動負債		
社債及び借入金	18,545	34,967
退職給付に係る負債	15,047	16,024
引当金	1,368	1,680
その他の金融負債	14,865	18,280
その他の非流動負債	3,705	5,788
非流動負債合計	53,530	76,739
負債合計	224,430	267,860
資本の部		
資本金	15,454	15,454
資本剰余金	—	4,211
自己株式	△234	△240
利益剰余金	340,444	351,136
その他の包括利益累計額	13,954	19,905
親会社株主持分合計	369,618	390,466
非支配持分	6,437	7,644
資本合計	376,055	398,110
負債及び資本合計	600,485	665,970

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
 (要約四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
売上収益	257,220	319,864
売上原価	△186,276	△235,599
売上総利益	70,944	84,265
販売費及び一般管理費	△46,345	△55,230
その他の収益	3,219	3,301
その他の費用	△2,406	△12,652
営業利益	25,412	19,684
金融収益	508	1,358
金融費用	△4,256	△1,055
持分法による投資損益	1,718	1,946
税引前四半期利益	23,382	21,933
法人所得税費用	△6,515	△4,923
四半期利益	16,867	17,010
四半期利益の帰属		
親会社株主持分	16,773	16,768
非支配持分	94	242
親会社株主に帰属する1株当たり四半期利益(円)		
基本的1株当たり四半期利益	80.55	80.53
希薄化後1株当たり四半期利益	—	—

(要約四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
四半期利益	16,867	17,010
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
FVTOCIの金融資産の公正価値の純変動額	△531	862
確定給付制度の再測定	—	—
合計	△531	862
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△15,880	5,531
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の 純変動額	6	△85
持分法によるその他の包括利益	△432	58
合計	△16,306	5,504
その他の包括利益合計	△16,837	6,366
四半期包括利益	30	23,376
四半期包括利益の帰属		
親会社株主持分	432	22,890
非支配持分	△402	486

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

(単位:百万円)

項目	親会社株主持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の包括利益累計額	
					FVTOCIの 金融資産	確定給付制度の 再測定
期首残高	15,454	8,004	△223	317,447	2,690	4,475
四半期利益				16,773		
その他の包括利益					△531	
四半期包括利益合計	—	—	—	16,773	△531	—
配当金				△5,206		
自己株式の取得			△3			
自己株式の処分						
企業結合による変動						
非支配持分の取得		△70				
その他の包括利益累計額から 利益剰余金への振替				△144	144	
その他の増減						
所有者との取引額等合計	—	△70	△3	△5,350	144	—
四半期末残高	15,454	7,934	△226	328,870	2,303	4,475

項目	親会社株主持分				非支配持分	資本合計
	その他の包括利益累計額			合計		
	在外営業活動体 の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッジ	合計			
期首残高	8,368	△8	15,525	356,207	6,315	362,522
四半期利益				16,773	94	16,867
その他の包括利益	△15,816	6	△16,341	△16,341	△496	△16,837
四半期包括利益合計	△15,816	6	△16,341	432	△402	30
配当金				△5,206	△102	△5,308
自己株式の取得				△3		△3
自己株式の処分				—		—
企業結合による変動				—		—
非支配持分の取得				△70	△323	△393
その他の包括利益累計額から 利益剰余金への振替			144	—		—
その他の増減				—		—
所有者との取引額等合計	—	—	144	△5,279	△425	△5,704
四半期末残高	△7,448	△2	△672	351,360	5,488	356,848

当第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位:百万円)

項目	親会社株主持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の包括利益累計額	
					FVTOCIの 金融資産	確定給付制度の 再測定
期首残高	15,454	—	△234	340,444	2,752	6,229
四半期利益				16,768		
その他の包括利益					862	
四半期包括利益合計	—	—	—	16,768	862	—
配当金				△6,247		
自己株式の取得			△6			
自己株式の処分		0	0			
企業結合による変動						
非支配持分の取得						
その他の包括利益累計額から 利益剰余金への振替				171	△171	
その他の増減		4,211				
所有者との取引額等合計	—	4,211	△6	△6,076	△171	—
四半期末残高	15,454	4,211	△240	351,136	3,443	6,229

項目	親会社株主持分				非支配持分	資本合計
	その他の包括利益累計額			合計		
	在外営業活動体 の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッジ	合計			
期首残高	4,852	121	13,954	369,618	6,437	376,055
四半期利益				16,768	242	17,010
その他の包括利益	5,362	△102	6,122	6,122	244	6,366
四半期包括利益合計	5,362	△102	6,122	22,890	486	23,376
配当金				△6,247	△152	△6,399
自己株式の取得				△6		△6
自己株式の処分				0		0
企業結合による変動				—	1,026	1,026
非支配持分の取得				—		—
その他の包括利益累計額から 利益剰余金への振替			△171	—		—
その他の増減				4,211	△153	4,058
所有者との取引額等合計	—	—	△171	△2,042	721	△1,321
四半期末残高	10,214	19	19,905	390,466	7,644	398,110

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	16,867	17,010
減価償却費及び償却費	13,452	16,318
法人所得税費用	6,515	4,923
受取利息及び受取配当金	△505	△562
支払利息	550	757
持分法による投資損益(△は益)	△1,718	△1,946
売上債権の増減額(△は増加)	△10,114	△10,916
未収入金の増減額(△は増加)	249	3,012
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,982	△6,926
買入債務の増減額(△は減少)	12,395	△942
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△87	△236
その他	△210	5,914
小計	35,412	26,406
利息及び配当金の受取額	574	600
利息の支払額	△572	△630
法人所得税の支払額	△9,063	△12,797
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,351	13,579
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,245	△21,524
有形固定資産の売却による収入	1,144	966
有価証券等の売却及び償還による収入	104	1,136
子会社株式の取得による支出	—	△24,422
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	—	△8,061
有価証券等の取得による支出	△495	△216
その他	△124	△2,424
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,616	△54,545
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,854	9,476
長期借入れによる収入	707	22,127
長期借入金の返済による支出	△2,395	△12,450
社債の償還による支出	△10,000	—
配当金の支払額	△5,206	△6,247
非支配持分株主への配当金の支払額	△102	△152
その他	△587	△1,050
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,437	11,704
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,034	1,937
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△13,736	△27,325
現金及び現金同等物の期首残高	119,988	107,649
現金及び現金同等物の期末残高	106,252	80,324

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項なし

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの収益及び損益

前第2四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

(単位:百万円)

項目	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	機能材料	先端部品・ システム	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	132,510	124,710	257,220	—	257,220
セグメント間の売上収益	1,962	900	2,862	△2,862	—
合計	134,472	125,610	260,082	△2,862	257,220
セグメント損益	22,234	3,105	25,339	73	25,412
金融収益	—	—	—	—	508
金融費用	—	—	—	—	△4,256
持分法による投資損益	—	—	—	—	1,718
税引前四半期利益	—	—	—	—	23,382

(注) セグメント損益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位:百万円)

項目	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	機能材料	先端部品・ システム	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	149,401	170,463	319,864	—	319,864
セグメント間の売上収益	2,323	719	3,042	△3,042	—
合計	151,724	171,182	322,906	△3,042	319,864
セグメント損益	24,618	△4,931	19,687	△3	19,684
金融収益	—	—	—	—	1,358
金融費用	—	—	—	—	△1,055
持分法による投資損益	—	—	—	—	1,946
税引前四半期利益	—	—	—	—	21,933

(注) セグメント損益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。